

広報たがのす

息をとめて、そーっと…



'92 8/15

うめばちそう(ゆきのした科)



くさぎ(くまつづら科)



▲少なくなった花の一つ。水けの変化の少ない所を好む。品のある花。

◀写真は実。花は白、がくは紅で美しい。手折ろうとするとして傷をつけると強い悪臭がする。

〔佐戸岱 阿部達雄さん〕

〔8／16～9／15のカレンダー〕

15 火	14 月	13 日	12 ・土	11 ・金	10 ・木	9 ・水	8 ・火	7 ・	6 ・日	5 ・土	4 ・金	3 ・木	2 ・水	1 ・火	31 ・月	30 ・日	29 ・土	28 ・金	27 ・木	26 ・水	25 ・火	24 ・月	23 ・日	22 ・土	21 ・金	20 ・木	19 ・水	18 ・火	17 ・月	16 ・日
敬老の日		閉序日	J C カップバレーボール大会（鷹巣体育館）						少年の主張秋田県大会（9..30 ファルコン）						二百十日	県の記念日	町民体育祭（8..30 陸上競技場）	町内小中学校二学期始業式				処暑	閉序日				第2回福祉のまちづくり懇話会（13..00 ファルコン）	ひまわりコンクール（中央公民館）		

〔表紙のことば〕



8月、夏真っ盛り。子どもたちの大好きな夏。最近はあまり見かけなくなってしまったが、虫とり網に虫かごを持った子どもの姿は夏休みの風物詩。セミ、かぶと虫、シオカラトンボ。木の幹にとまったセミを見つけたときの胸のときめきを今でも想い出す。

人口と世帯数		7月31日現在
住民基本台帳による		
		(前月比)
総人口	23,541人	(2人減)
男	11,323人	(13人減)
女	12,218人	(11人増)
(出生)	23人	転入 44人
(死亡)	26人	転出 43人
世帯数	7,347世帯	(3世帯減)

- 四季の野草 2
- 第4回ホークスサミットin鷹栖 4
鷹栖町はこんな町／婦人フォーラム
- 福祉のまちづくりワーキンググループの活動紹介 6
- 種苗交換会ポスター入賞作品紹介 8
- ヤングマンテーブル募集／町長日誌 9
- ゆかいななかま 10
「鷹巣ばやし」紹介／広報クイズ
- まちの話題 12
マイヅルテンナンショウが鷹巣に群生
- 健康広場 14
保健婦だより／献体のお願いほか
- 暮らしの情報 17
無料調停相談／町民盆踊りほか
- 町民体育祭のご案内 20



「ひまわり」ちぎり絵作品(6号)

米倉博子さん(大館市)

[中央公民館しゅんこうちぎり絵講座]

鷹栖町は人口約六千九百人、道内有数の米産地で、健康づくりを町政の基本とし、高齢化社会に対応するまちづくりが全国的にも高い評価を受けています。また、食生活改善への取り組み各種の自然食品が生産され、「オオカミの桃」などは特産品として全国的に有名です。

鷹栖町の特産品「オオカミの桃」(トマトジュース) 全国に知られる自然食品トジューs 今年で四回目。会場は三鷹市、鷹巣町、白鷹町と移り、今回は「健康のまち」で知られる北海道上川郡鷹栖町で行われました。



▲共同宣言を読み上げる各首長。「21世紀に向かって大空を舞う鷹のように力強く羽ばたく」とした宣言を採択した。



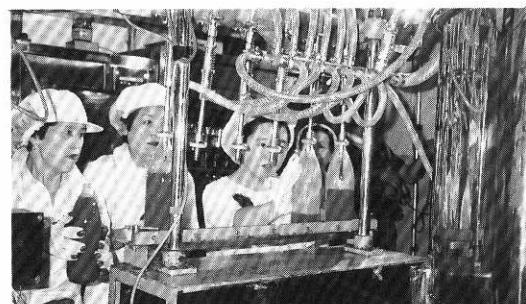
▲保健婦、保母、無農薬野菜づくりに取り組んでいる人など、19名が参加した婦人座談会。地域での健康づくりにも婦人の役割が大切なことが確認された。

第4回

7/30-31

ホークスサミット in 鷹栖 (たかす)

第四回目のホークスサミットが七月三十、三十一日の二日間、北海道鷹栖町(たかすちょう)を会場に開催されました。このサミットは、全国の「鷹」の付く五つの市と町が一堂に会し交流や情報交換を行う目的で始まりました。トマトジュース加工体験、そして句碑の建立などが行われました。二日間の模様をご紹介します。



▲鷹栖町の特産品、トマトジュース「オオカミの桃」の製造加工を体験。普通のトマトジュースとは比較にならないおいしさ。

鷹の眼はいつも風をみつめている

首長・議長による懇談会では、小中学生の相互交流促進で意見が一致

サミットには五つの市と町から首長、議長、民間の女性など五十人余りが出席。鷹巣町からは岩川町長、三沢議長ほか十一名が参加しました。

首長、議長による懇談会では、自治体職員の相互派遣、小中学生の交流など人ととの交流を今後のテーマとしているなどを確認。閉会式でも「五つの鷹のまちは、個性豊かな活力あふれる二十一世紀の地域社会を目指して、悠然と大空を舞う鷹のように力強く羽ばたく」と、五市町の絆を深める宣言が採択されました。

地域社会での健康づくりにも主婦としての役割は大切(婦人フォーラム)

またサミットでは「健康と婦人の役割」をテーマに座談会が行われました。

鷹巣町からは畠山洋子さん、藤本久恵さん、佐藤繁子さん、中嶋洋子さんの四人が参加、それぞれの立場から意見を述べました。

二時間余りにわたって話し合われた座談会では、家庭の健康維持は主婦の役割、それと同じように地域社会の健康づくり、体力づくりも婦人の力が大切であることなどの意見が出されました。

鷹巣町は健康のまちづくりの先進地。それだけに参加者は、健康についてあらためて関心を深めていたようでした。

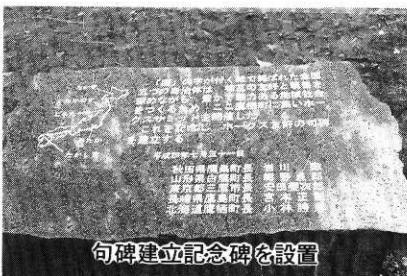


五代儀さんと句碑

町内の丸山句碑の森に、各市町の碑が建立された。鷹巣町は、五代儀幹雄さん（伊勢町）の句「ギネス太鼓 殿々（いんいん）山を眠らせす」



「情報を得る媒体は人。職員や小中学生の相互交流の推進を」の認識で一致した首長懇談会



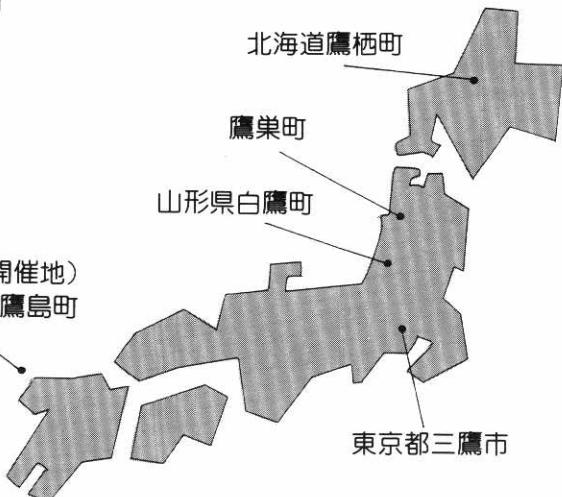
句碑建立記念碑を設置



鷹巣町の町花も鷹巣と同じ「ひまわり」



(次回開催地)
長崎県鷹島町



福祉のまちづくりを目指して

現在、鷹巣町における六十五歳以上の老齢人口比率は十八パーセントを超え、この二十年間で老齢人口は倍増しています。これは、出生率の低下、若者の流出、死亡率の低下等によるものですが、老齢人口は確実に加速度的に増加を続け、二十一世紀には四人に一人が六十五歳以上の高齢者で占められることが予想されます。

4人に1人が65歳以上はすぐそこまでできている

人は年をとるにしたがい、心身ともに衰弱し、病気にもかかりやすくなり、介護の必要が生じてきます。しかし、寝たきり老人、痴呆、重度障害者の介護負担は、介護者自身の精神的疲労、高齢化などによって厳しい状況にあります。

そこで町では、来たるべき超高齢化社会に向かって、すべての人々が安心して生活できるような「福祉のまち」づくりを目指しています。



町では、急速な高齢化の進展に対応し、高齢者が地域の中で安心して暮らしていくよう調査・研究を行う「福祉のまちづくり懇話会」を四月に設置しました。懇話会では、これまで福祉特別講演会を開催したほか、ワーキンググループを設置、福祉のまちづくりについて検討を重ねています。

懇話会が設置されてから四か月。これまでの状況をお知らせします。

福祉のまちづくり懇話会を設置



懇話会委員(第2回福祉のまちづくり講演会で)

豊かな老後を

迎えるために

いつまでも健康に暮らしたい——だれもが共通に持つ願いです。

二十一世紀、四人に一人が六十五歳以上と

いう高齢化社会に突入することが予想される中、今こそ真剣に高齢者福祉を考え、行動しなければなりません。

伊東会長も一人暮らし老人宅、障害者宅等を訪問

このようなことから、福祉先進国であるデンマークに学び、高齢化社会の将来を見誤ることのない福祉施策を目指して、三月七日、デンマーク・コペンハーゲン大学の伊東敬文先生をお迎えし講演会を開催しました。講演会では、デンマークの高齢者福祉の三原則（継続性の尊重・自己決定の尊重・残存能力の活用）や、医療対策などが紹介されました。

さらに四月十八日には、朝日新聞社の大熊由紀子論説委員をお迎えし、ジャーナリストから見た高齢者福祉政策や、なぜ北欧には寝たきり老人がいないのかについて、ご講演をいただきました。

これらの講演会を受け、四月に「鷹巣町福祉のまちづくり懇話会」が設置されました。懇話会は、高齢者が地域の中安心して暮らしていくよう、福祉・保健・医療のあり方、また、それらが連携した総合的福祉のまちづくりの調査・研究をすることとするもので、それぞれの関係者ら十五人で構成されています。

第一回目の懇話会では、伊東敬文先生を会長に選任した後、事業計画・現在の問題点・

鷹巣町における福祉とは何かについて話し合われました。また、地域にあった福祉のまちづくりのために、町民を含めたワーキンググループ（検討委員会）を構成し、豊かな老後のためにはどうするべきかを話し合う場をつくることとなりました。

町民と一緒につくる 福祉のまち たかのす

町の実態にあつた福祉施策を進める上で、広く町民の意見を反映させることを目的としたワーキンググループが、六月五日設置されました。

ワーキンググループは五十九人の委員になり、六グループで構成され、現状の把握・問題点を探るため、これまで一人暮らし老人宅や、障害者宅を訪問し、直接見聞したことにもとづいて検討してきました。

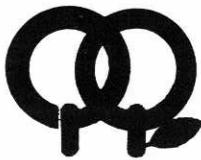
七月二十八日には、六グループの合同討議が開かれ、グループで話し合われた問題点等について意見集約。その中で、民間ボランティアの養成、車椅子で歩けるまちづくり、保健婦・ヘルパーなどの専門職の増員、総合福祉施設の必要性——など、さまざまな意見が出され、また、解決方法について話し合われました。

これらの意見は、八月二十日開催される第二回目の懇話会でさらに分析・検討が加えられ、可能なものから順次実施されることになります。

～招待状～
第2回福祉のまちづくり懇話会が開かれます
=みなさんおいで下さい。あなたの意見をお待ちしています=

▶とき 8月20日(木)午後1時～ ▶ばしょ たかのす風土館(ファルコン)

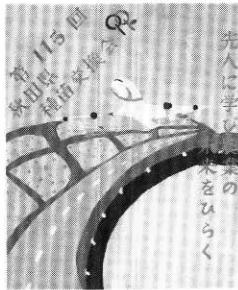
三人が特選に決まりました



種苗交換会 ポスター図案 全国に向けて町をPR



▲足田さんの作品



▲岩本さんの作品



▲成田君の作品

秋に開かれる第百十五回秋田県種苗交換会の鷹巣町協賛会では、交換会のポスター図案を募集していましたが、このほど応募作品の審査会を開き、入賞作品を決めました。

応募作品数は町内小中学生から百二十二点。審査の結果、特に綴子小五年の岩本容子さん、鷹巣中一年の岩本容子さん、同三年の成田克憲君の作品が選ばれました。

図案については「鷹巣町」をアピールすると同時に、農業の祭典である種苗交換会のイメージにふさわしいアイデアの「作品を募集していますが、たが、特選の三作品はテーマの捉え方とともに、構図・色彩も優れていました。

協賛会ではこの三作品を素案としてポスターを作成する予定です。

なお入選は次の通りです。

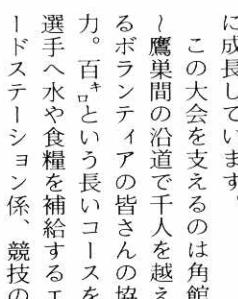
■武藤悠（西小五年）▼本城谷早苗・奈良田純・柏木友美畠山尚己・新林郁実・高橋久美子（以上綴子小五年）、小

光美、成田和歌子（以上鷹中二年）
佐藤奈津子、千葉真友子（以上中央小六年）▼佐藤衛（鷹中一年）、田山梨里、三日田光美、成田和歌子（以上鷹中二年）

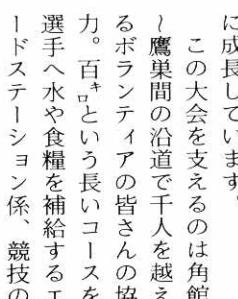
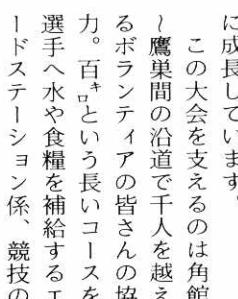
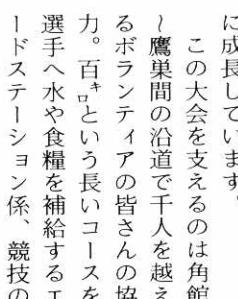
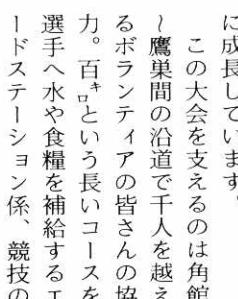
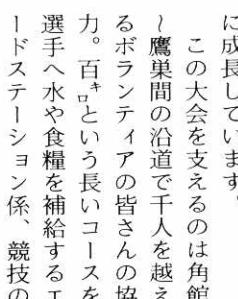
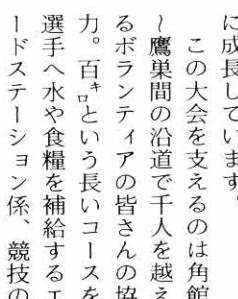
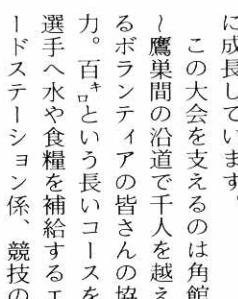
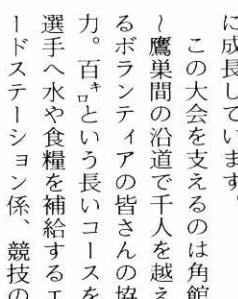
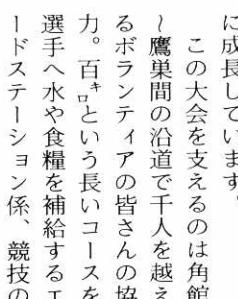
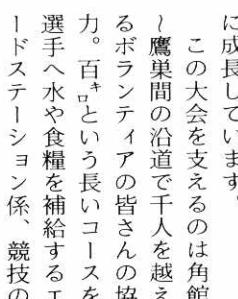
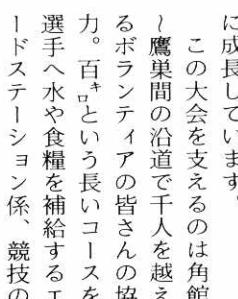
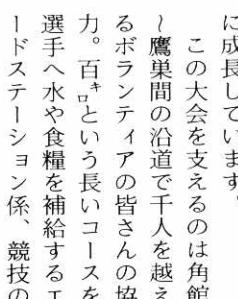
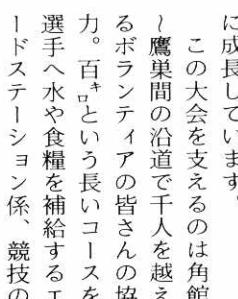
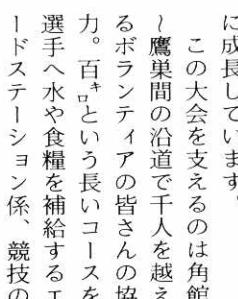
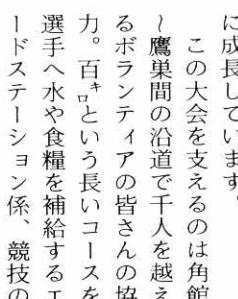
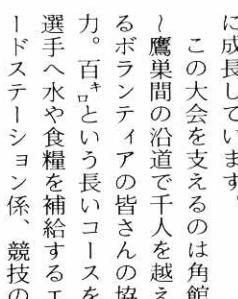
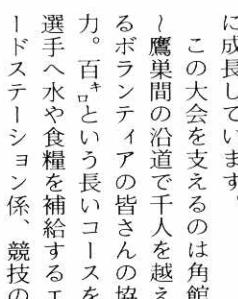
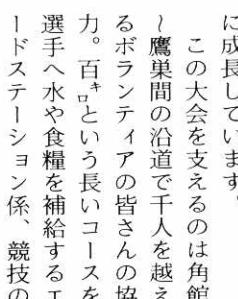
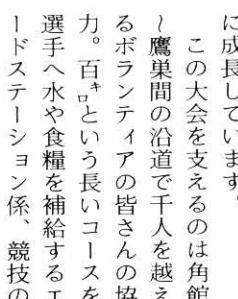
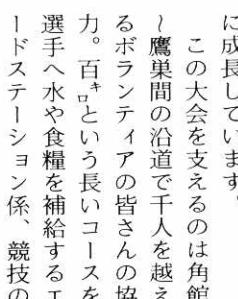
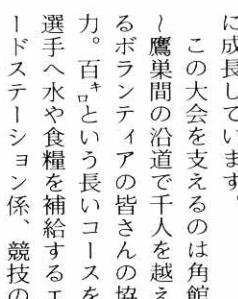
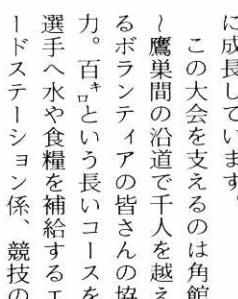
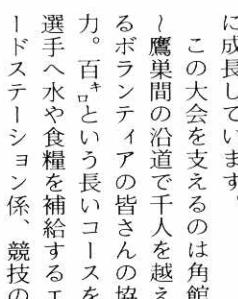
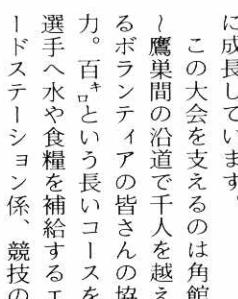
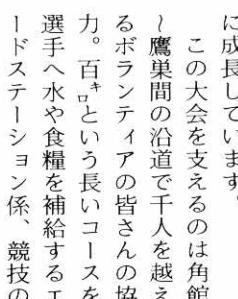
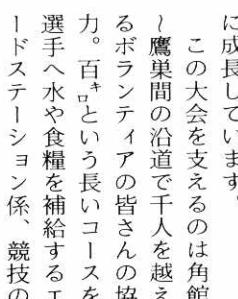
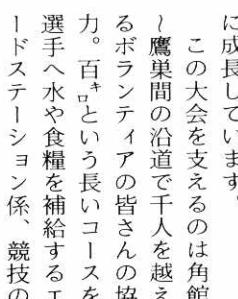
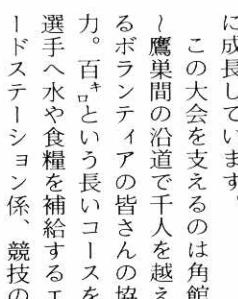
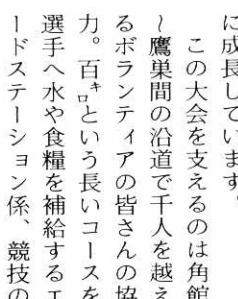
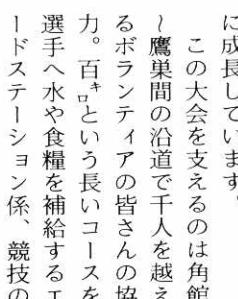
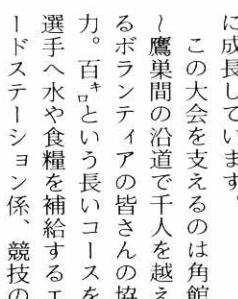
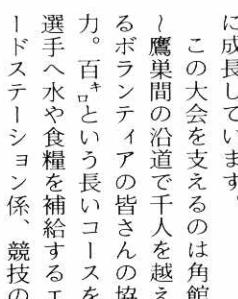
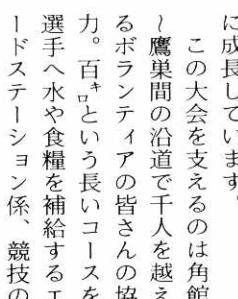
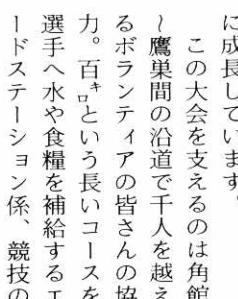
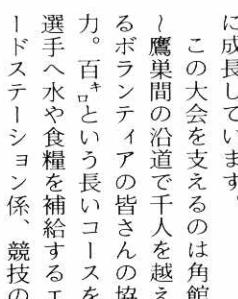
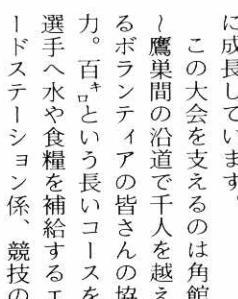
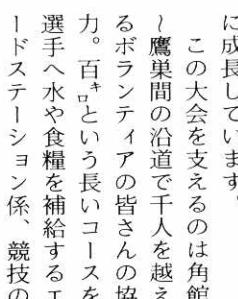
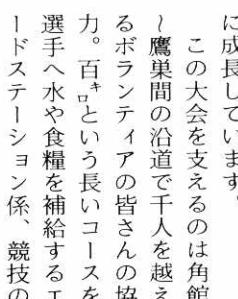
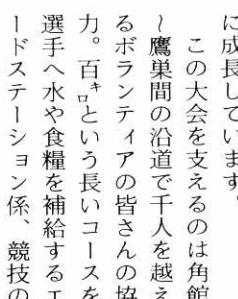
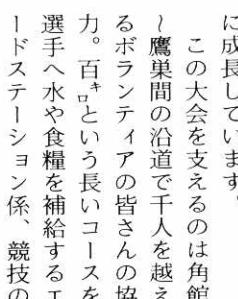
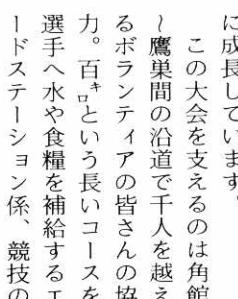
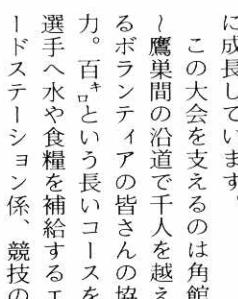
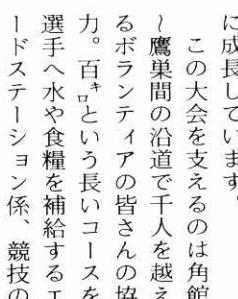
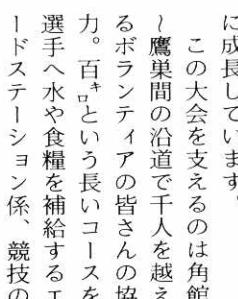
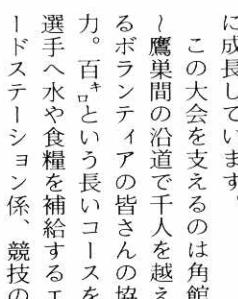
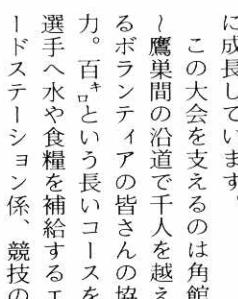
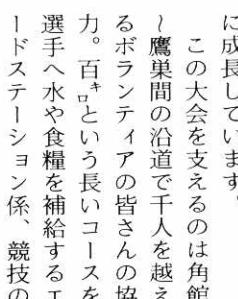
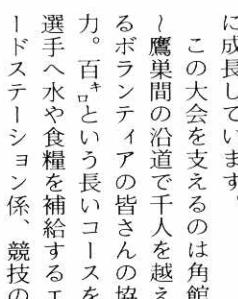
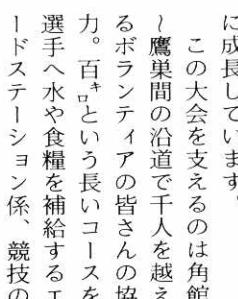
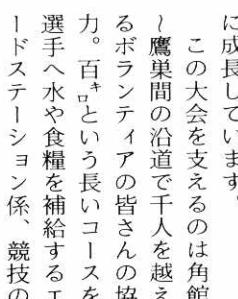
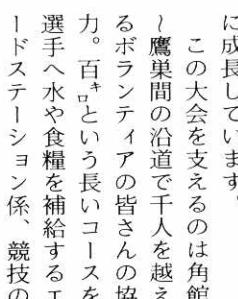
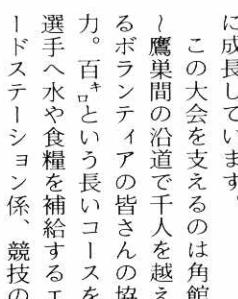
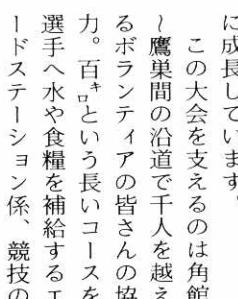
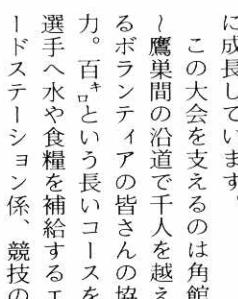
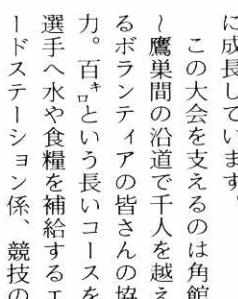
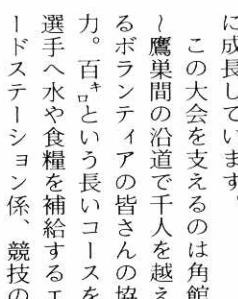
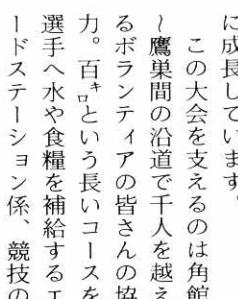
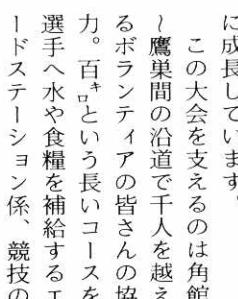
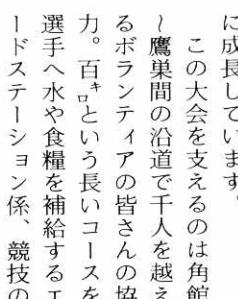
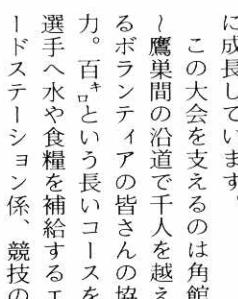
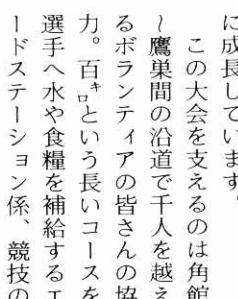
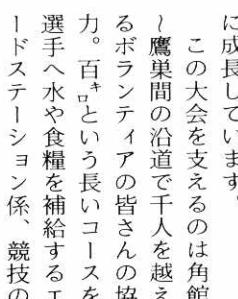
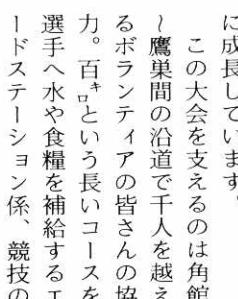
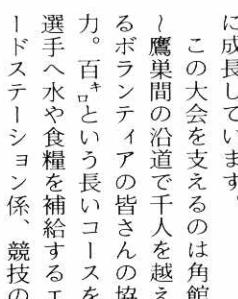
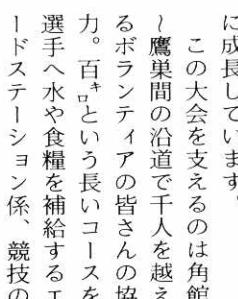
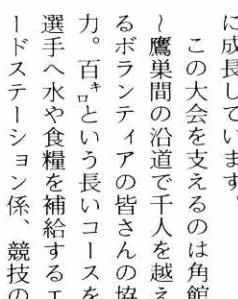
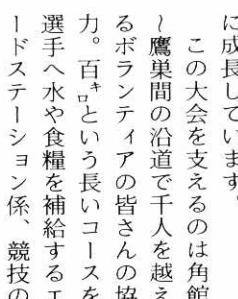
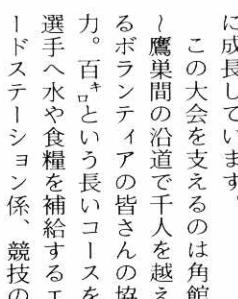
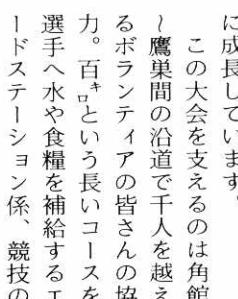
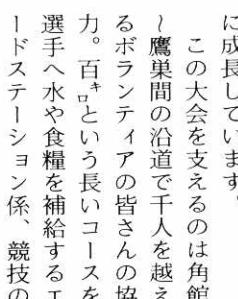
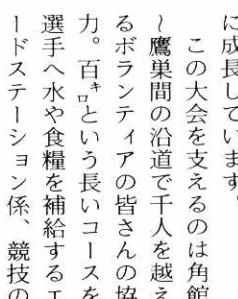
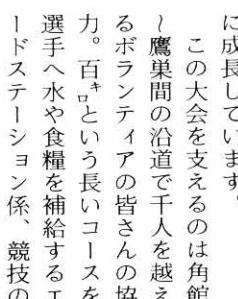
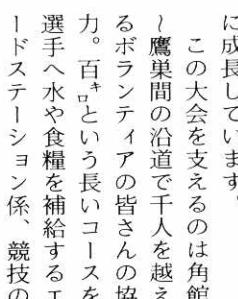
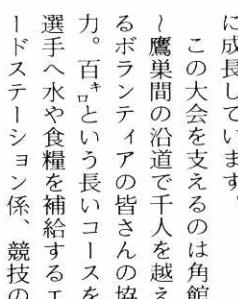
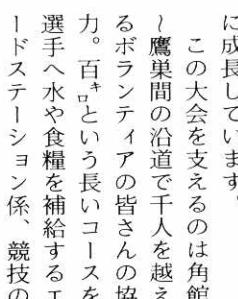
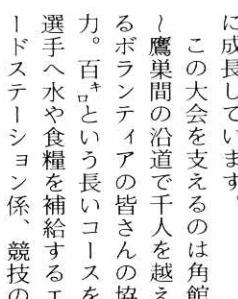
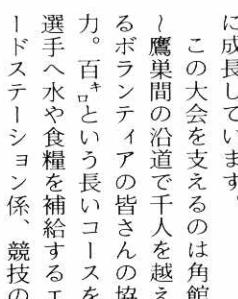
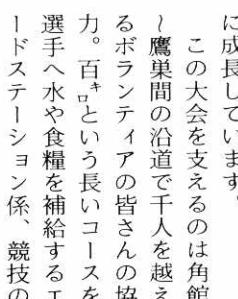
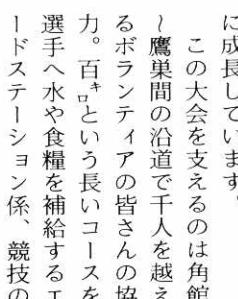
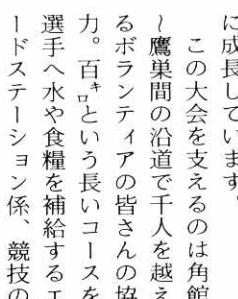
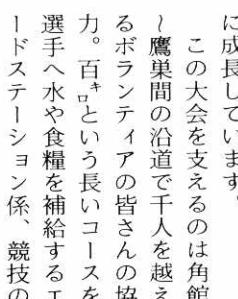
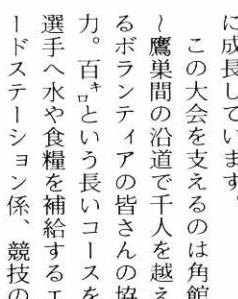
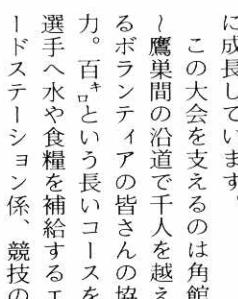
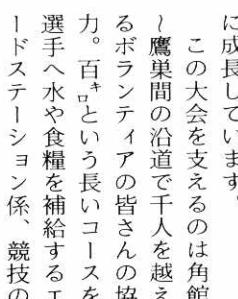
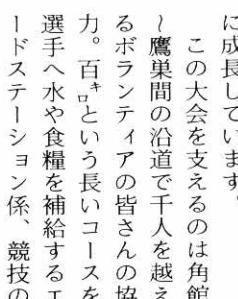
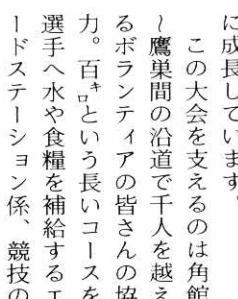
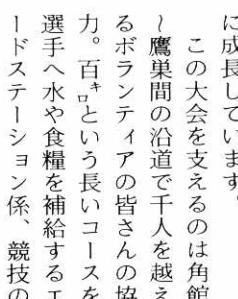
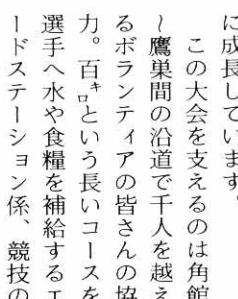
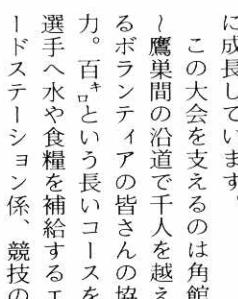
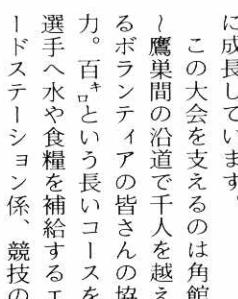
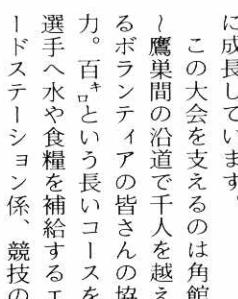
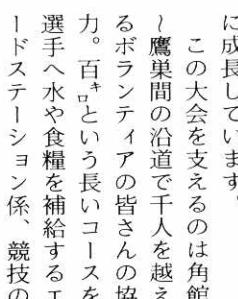
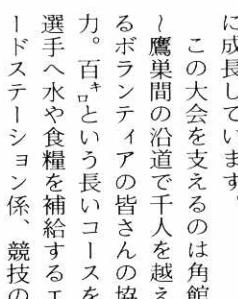
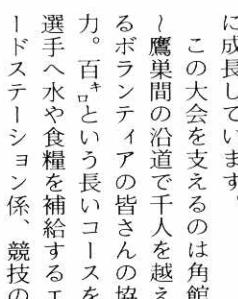
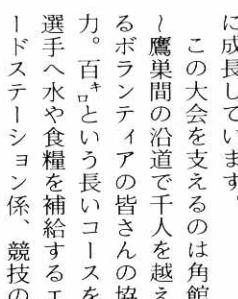
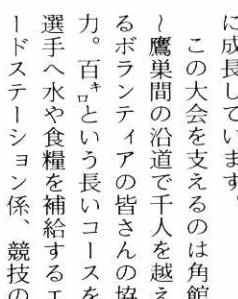
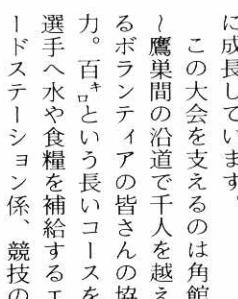
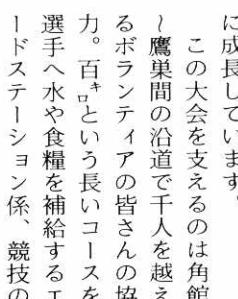
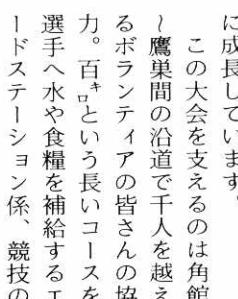
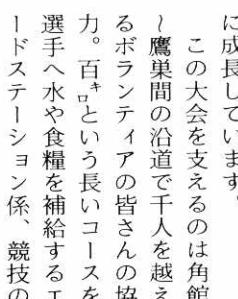
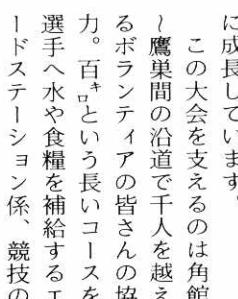
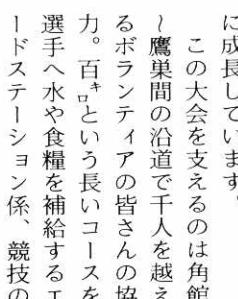
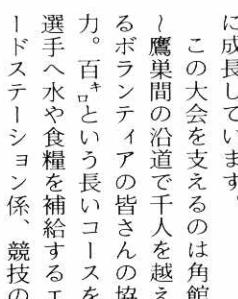
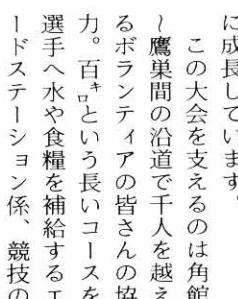
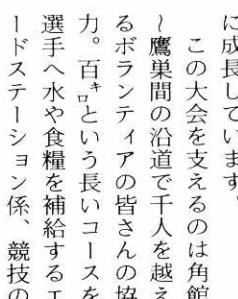
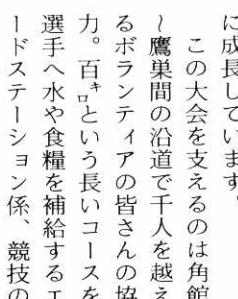
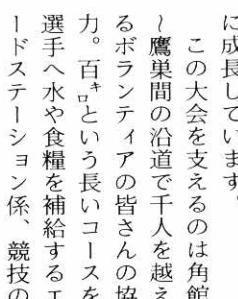
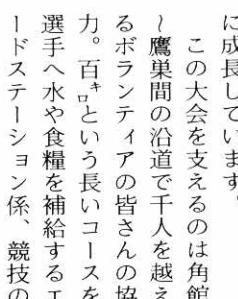
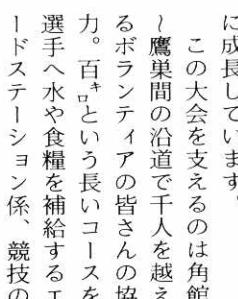
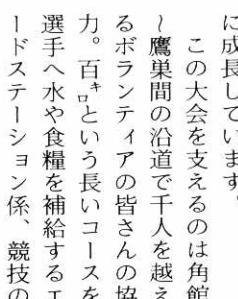
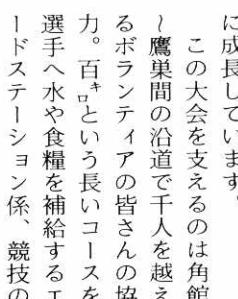
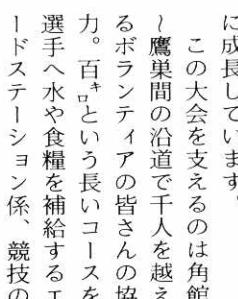
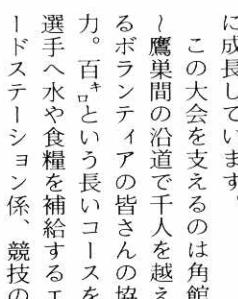
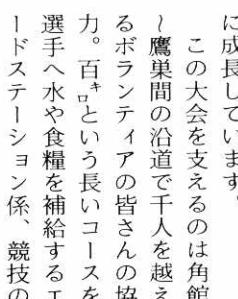
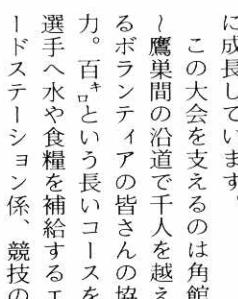
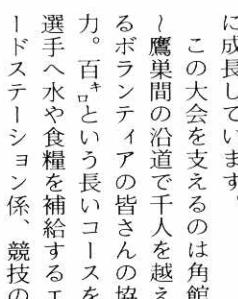
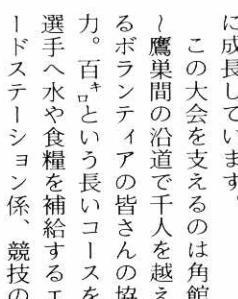
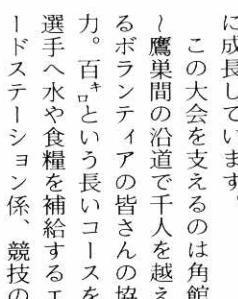
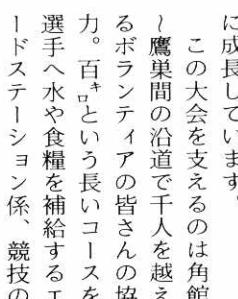
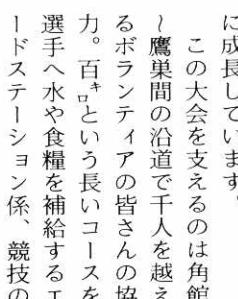
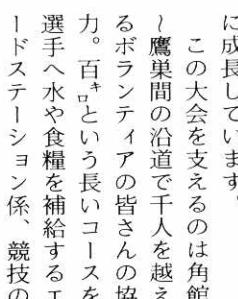
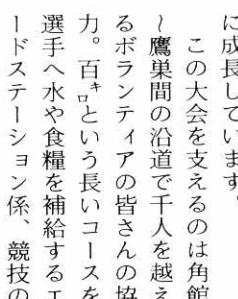
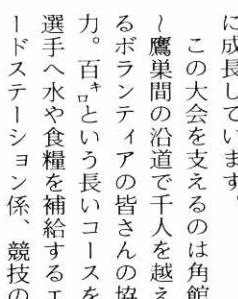
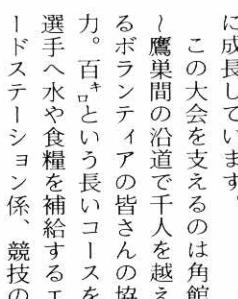
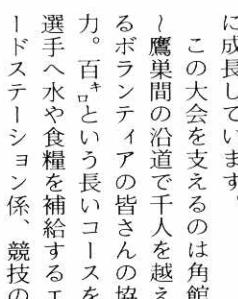
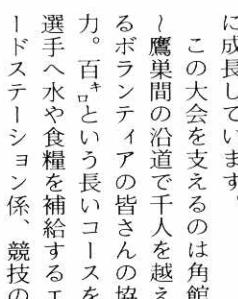
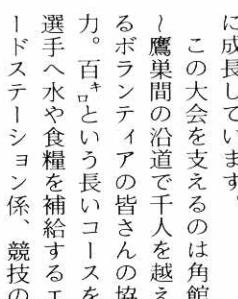
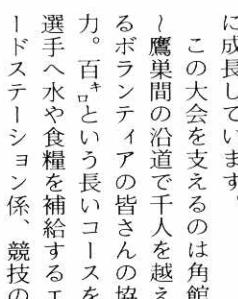
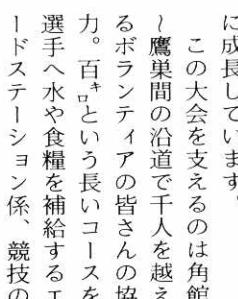
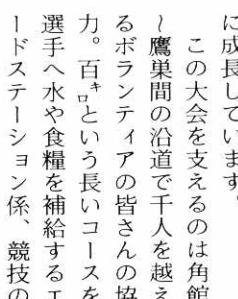
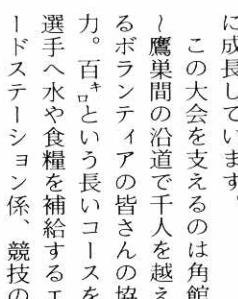
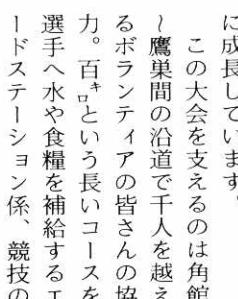
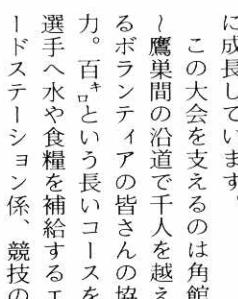
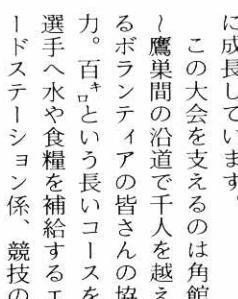
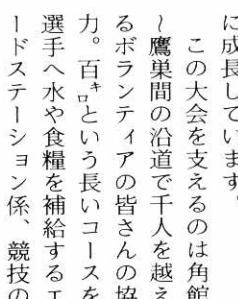
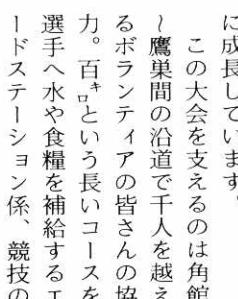
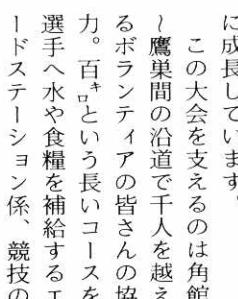
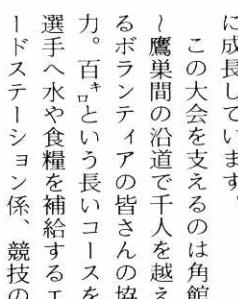
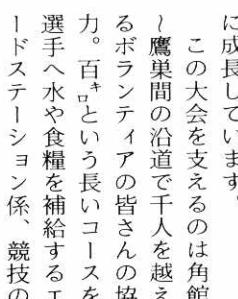
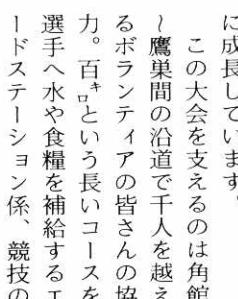
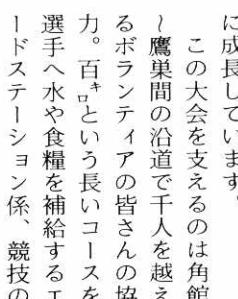
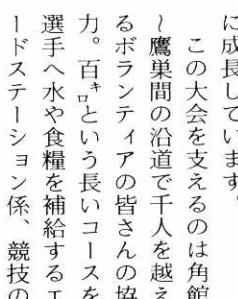
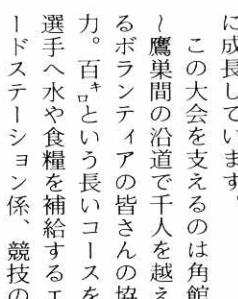
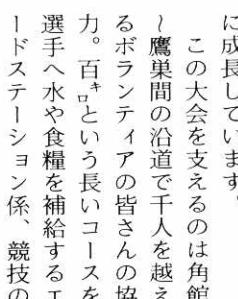
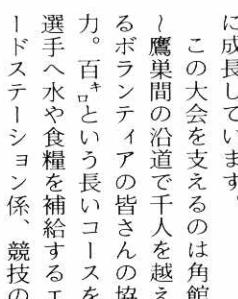
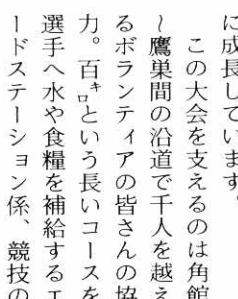
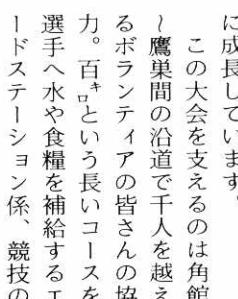
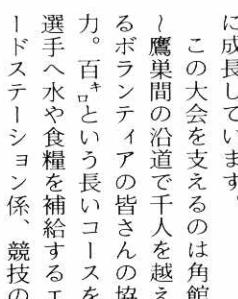
協賛会では交換会の期間中の出店について、会場に設営する露店コマ以外の空地などの出店は、事務局が特に認めたもの以外禁止しております。交渉があつても、応ぜぬようご協力をお願いします。

三年前の第一回大会は参加者がわずか六十八名でしたが、昨年の第三回大回は四八九名、そして今大会は申し込みが百キロの部五百七十名、五十キロの部百五十名と、ビッグな大会に成長しています。

この大会を支えるのは角館と鷹巣間の沿道で千人を越えるボランティアの皆さんのが力。百キロという長いコースを選手へ水や食糧を補給する工



この大会は「手づくりのおもてなし」をアピール。完走認定証の焼き入れもスタッフが行っている。



町長日誌

7/16~31

16日(木)広域圏議会が開かれ組合の各施設の視察をする。第2回「未来たかのす計画委員会」がファルコンで開かれた。この委員会は、町の魅力ある土地の利用をどのようにすすめたらよいかを研究し、指針を示して頂くもので、県をはじめ大学の先生や関係団体に加わっていただいている。

18日(土)午前、県中学校総体バレーボール大会の開始式があり、あいさつ。訪問看護など在宅ケアに取り組む「在宅看護職の会」の発令式が役場で行なわれた。保健婦、助産婦、看護婦さんがメンバーで専門職の方々ばかりで大いに活躍を期待したい。

午後、青少年育成町民会議総会に出席。続いて、子ども会キャンプが雨のため公民館分館に変更、「雨に負けず、自然を友に」と激励のあいさつをした。

20日(月)社会福祉協議会の理事、評得会が開かれ、デンマークの高齢者福祉についてお話しする。

24日(金)青果物集出荷センターのキュウリ選別機の本稼働の出荷式が行なわれ、期待を込めてテープにハサミをいたれた。

28日(火)町の福祉の方向めざしてワーキンググループが精力的に実態や問題の把握に対し組んでいるが、合同討議会が開かれ、各グループから多くの提言がだされた。さらに懇話会の検討をいただいて、できるものから取り組みたい。

29日(水)全日空・エアーニッポンの取締役ら幹部が空港予定地を視察し、「格好の適地」と述べられ、期待感が更に広がった。

30日(木)「人と人との交流を進めよう」をテーマに第4回ホークスサミットが北海道鷹栖町を会場に開かれ、小中学生校の交流をすすめることなどを確認した。

・第4回・

ヤングマンテーブルに参加しませんか

南由利原青少年旅行村 で

「夢を咲かせる会」との交流会を開催

近年、県内各地において、青年の創意工夫による自發的なまちづくりが活発に行われています。

今回は、そんなまちづくり

を活発に行っている人たちと

思いつき語り合い、情報交

換をしてまちづくりに生かし

ていたくため、次により第

四回ヤングマンテーブルを開

催します。参加と希望される

方は18日(火)まで総務課広

報秘書係へお申込み下さい。

▽日時 8月29日(土)~30日(日)

▽場所 南由利原青少年旅行村オートキャンプ場

※29日(土)午後1時に町民バスで役場を出発します。



〔日 程〕

29日	13:00	役場前出発(12:45集合)
	16:00	事例発表、意見交換
	18:00	夕食準備、夕食(バーベキュー)
	20:00	交流会 トーク&トーク
30日	6:00	起床・朝食準備・朝食
	9:00	スポーツ・レク交流
	11:00	閉会(昼食)
	13:00	視察見学
	17:00	鷹巣着・解散

町職員上級 初級資格試験案内

資格要件

50年4月1日生
まれの方

町では、二十一世紀に向かつて住みよい町づくりを進めため、企画力と行動力にふれた人材を募集しています。

受験希望者は、次の要領によりお申し込みください。

採用予定職種及び人員

一般行政事務職員 ①一般行政事務職
幼稚園教諭 ②保母および若干名

■ 年齢要件
上級 昭和40年4月2日~
46年4月1日生
まれの方
初級
昭和42年4月2日~

■ 試験日
9月20日(日) / 二次試験
は一次試験合格者について通知します

試験会場

秋田経済法科大学(秋田市)
申込受付

8月12日(水)から8月31日(月)まで役場総務課
庶務係(2階)にお申し込みください/(申し込み時間)平日午後4時30分、土曜日(閉庁)午日を除くは



新しい伝統芸能 の創造を



私たち鷹巣ばやしは八月四日、五日の二日間、県太鼓連盟から選抜され、秋田市で開かれた竿灯祭りに出演、数万の観光客の前で演奏し、今最高に意気が上がっている。

結成は「鷹巣観光開発研究会」。世界一大太鼓を観光資源にして町の活性化の起爆剤にしたい——と、前会長の松尾昭利さんたちが、当時鷹巣高校音楽教諭だった川口洋一郎先生に作曲を依頼、その曲を「わらび座」の湊愛子さんが実際の音にし、「鷹巣ばやし」が誕生した。

桐太鼓を買っていただいた晚梅の高橋実さん、山太鼓を寄贈いただいた鷹巣ローラー

ークラブのご協力のもと、八年前、ゼロの状態からやつと太鼓のリズムが鳴り出したのである。

その後、銀座通り商店会青年部、和太鼓「鼓道」ほか各太鼓グループが誕生、私たちのグループも、少しは太鼓の普及に貢献できたのではないかとこの八年を振り返つてゐる。

この太鼓を基盤にした活性化運動の盛り上がりの中から「太鼓の館」が誕生。仕掛け人の「観光研」は「観光物産開発株式会社」に発展、またご本家の綴字ではさらに大きな世界一大太鼓を製作するなど、文字どおり「太鼓の里」

●8月の生活メモ
8月が立秋。しかし秋は曆の上だけのことで、1年を通じて最も暑い季節です。朝の涼しいうちに掃除、洗濯など、家事をすませましょう。



8月 (葉月)

駅 鈴(えきれい)



古代、官人が諸国に公務で赴くとき公用の証として朝廷から支給され、携帯した鈴。7世紀頃、情報伝達手段として始まった駅制で用いられたもの。街道に設けられた駅家で人馬調達のため鳴らす。

[松葉町 佐藤富雄さん]

62—3311佐藤速夫さん

新規の伝統芸能の創造を目

のイメージが確立された。
その発端の役割を果たしたのが「観光研」を母体とする「鷹巣ばやし」だと、誇りと自信と責任を感じながらバチを振つている。

現在、会員は魅力的な肢体でお色気を発散させながらパワーアフルの女性三人をメインに?計十五人。毎週月曜日午後七時から鷹巣小学校で練習。

■ハガキに、問題の答えと住所・氏名・年齢・職業・小中高生は学校名と学年を書いて役場広報係(花園町19-1)まで送ってください。正解



■問1 ホーリークスサミットの今年の開催地、北海道鷹栖町の特産品のトマトジュースの名称は?

■問2 鷹巣町が北限地として確認された貴重な野草の名前は?

■問3 広域駒踊りフェスティバルに鷹巣町から出演したグループは?

応募方法

■ハガキに、問題の答えと住所・氏名・年齢・職業・小中高生は学校名と学年を書いて役場広報係(花園町19-1)まで送ってください。正解

詰将棋

●ヒント:ハデな大駒の捨て方。
10分で2級、3分で2段。

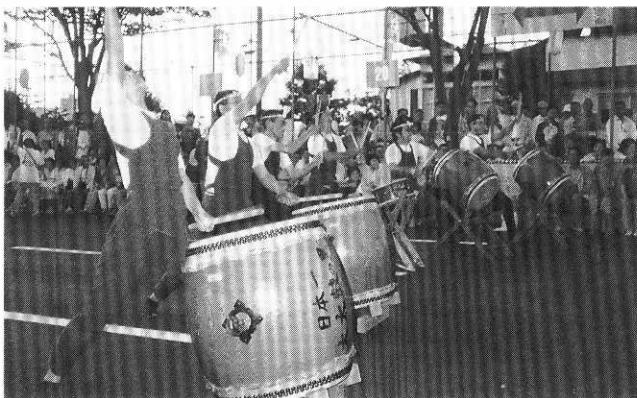
出題	八段	北村昌男				
一二	6	5	4	3	2	1
三		零	角	王		
四		平	平			
五			桂	平	鶴	歩
六				角		
七					歩	
八						持駒
九						飛



「新潟県正解」1一葉、3二葉、2二葉、2二葉、回鑓、3一金玉、9手詰め。
成、回鑓、4一葉成、回王、2三葉
(新潟県正解) 1一葉を回王なら1二葉成、
回王、1三葉成と詰めます。大輪3枚
を詰め、金打子の詰めで手詰め手詰め
を詰めます。金打子の詰めで手詰め手詰め
を詰めます。金打子の詰めで手詰め手詰め
を詰めます。金打子の詰めで手詰め手詰め
を詰めます。金打子の詰めで手詰め手詰め
を詰めます。

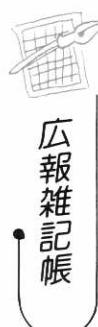


▲ 「鷹巣ばやし」は8年前「鷹巣観光開発研究会」としてスタート。現在会員は女性3人を含む15名。町の各種イベントに参加し、太鼓のまちづくりの大きな力となっている。(鷹巣神社祭典で)



▲ 秋田市で8月4日、5日の2日間開催された竿灯祭りに出演。全国からの観光客の前で演奏を披露するとともに「太鼓のまち鷹巣」をしっかりPR。

十日から始まる全国高校野球甲子園大会に、本県からは能代高校が出場。鷹中出身の強打者大塚、控えの投手村上、両選手の活躍が期待されます。(まちの話題で紹介)



■ 締め切り／8月31日
■ 広報係では皆さんからのお便りをお待ちしています。応募ハガキの余白で結構ですので、ホットな話題、ご意見や疑問などを自由に書いて送ってください。広報で紹介したいと思います。

者の中から抽選で5名の方にオリジナルテレホンカードをプレゼントします。



北秋田家畜品評会 いすれも見事な成長ぶり

—鷹巣の五農家が入賞—

第二十八回北秋田家畜総合品評会が七月二十八日、七日市・吉野の北秋田家畜市場で開かれ、各農家自慢の牛、豚の生育ぶりが競われました。出品は種雌牛の部などに計

三十六頭。「総体的に発育良好で年々改良のあとが見受けられる」と、各農家の努力が評されました。

鷹巣町の入賞者は次のとおりです。（敬称略）

【肥育牛の部】▼優等および二等＝泉敬一（大堤）▼一等および三等＝松尾豊（松葉町）
【種豚の部】▼優等および二等＝中島俊一郎（川口）▼一等＝佐藤忠光（舟場）
【功労者】▼斎藤賢治（田子ヶ沢）



絶滅寸前の野草が鷹巣に

—マイヅルテンナンショウの群生地を調査—

「マイヅルテンナンショウ」をご存知ですか。漢字で書くと「舞鶴天南星」。マムシグサとも呼ばれる南方系の多年

草で、その姿から「マイヅル」の名が付いたようです。

絶滅のおそれがあるこの野草の群生地が六月、町内で確

認され、八月一日、分布状況などの調査が行われました。

調査は、中央公民館の野草講座担当の阿部達雄さんほか

県の関係者によって実施され、当初二百株程度とみられていましたテンナンショウが千株以上も見つかり、北限の群生地と

全国的に開発が進み、貴重な動植物が次々と姿を消しています。日本では七カ所ほどしか自生地がないマイヅルテンナンショウを町民みんなの心づかいで守りましょう。

甲子園での活躍を期待 —能代高校野球部には鷹中出身が五人—

八月十日から開幕する、全国高校野球選手権大会に出場を決めた能代高校の鷹巣町出身の五選手が、四日岩川町長を訪れました。

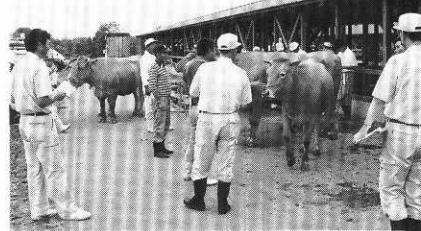
選手らは、「今までやつて

きたことを全部出し切れるよう頑張る」、「自分たちの野球をすればおのずと良い結果が出る」などと必勝に向けて抱負を語っていました。

五人の選手は、レフトの大

塙大（三年）くん、ピッチャーの村上鉄也（同）くん、それに伊藤元一（二年）くん、千葉祐幸（同）くん、戸沢貴洋（同）くんで、いすれも鷹中出身です。

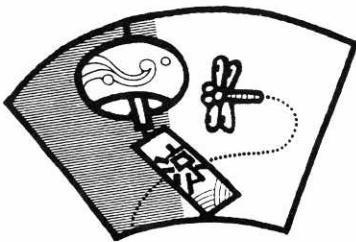
各選手とも気合十分で、甲子園での活躍が期待されます。



しての貴重さが再確認されました。

町では調査結果に基づいて追跡調査を実施し、保護対策、さらには文化財の指定についても検討を行う考えです。

全国的に開発が進み、貴重な動植物が次々と姿を消しています。日本では七カ所ほどしか自生地がないマイヅルテンナンショウを町民みんなの心づかいで守りましょう。



太太鼓の館を見学する菅原さん親子



駒 踊り フエスティバル 壮観、野戦の騎馬武者姿

空港開港時の観光の目玉に

大館能代空港早期実現を目指し、八月一日、鷹巣阿仁広域駒踊りフェスティバルが合川町役場前で開催されました。このフェスティバルは、米代川流域に伝承されてきた各

地域の駒踊りを同空港が開港した際の観光の目玉にしよう

というのがねらいです。

駒踊りは、戦国乱世の戦場を駆け回る騎馬武者を表現した勇壮な踊り。各地域では青

平成十年に空港開港が実現したときには、北欧の杜を会場に、一千頭規模の同フェスティバルが計画されています。

将来はオリンピックに……

町内小学校水泳大会開催される

気分はバルセロナ、目指す

は岩崎恭子、金メダル……。

第十四回鷹巣町小学校水泳大会が、八月五日鷹小プールで行われ、日頃の練習成果を存分に発揮、二つの大会新記録が出るなど、熱戦を開幕しました。

優勝者は次のとおりです。

【男子】

▼四年自由形 山田俊之（鷹巣）▼大会新五年平泳ぎ 畠山智哉（竜森）▼同自由形 畠山和（綴子）▼同背泳 成田哲（中央）▼六年平泳ぎ 村上純悟（東）▼同自由形

長岐浩仁（南）▼同背泳 三國裕平（鷹巣）▼大会新

【女子】

▼四年自由形 渡部真理（鷹巣）▼五年平泳ぎ 照内亜希子（鷹巣）▼同自由形 武藤悠（西）▼同背泳 出川友羽子（鷹巣）▼六年平泳ぎ 中嶋真弓（鷹巣）▼同自由形 熊谷厚子（西）▼同背泳 阿部亜希子（西）

親と子の秋田見聞録

世界一の大太鼓にびっくり

湯沢市の親子が鷹巣を訪問

「聰子さん、鷹巣町を選んだ理由はですか？」の質問の答えは「世界一の大太鼓をテレビで見、家族で話題にのぼったこと」。

八月三日、湯沢市の菅原聰

菅原さん親子が訪れたのは

ふるさと創生事業以来の地域づくり活動に触れてもらおうとする県の「親と子の秋田見聞録事業」の一環。今年は親子三十組がそれぞれ選んだ市町村を訪問しています。

聰子さんは本物の大太鼓を前に「テレビで見ると違つて実際のは本当に大きい」と驚いていました。



健康な場

保健課からのお知らせ



私たちの医療費

わたしたちの暮らしの中に思われる病気や事故が起るもの。そんなとき、国保に加入していなければ、お医者さんにつかむる医療費を全額自分で負担することになります。また、多額の費用がかかり、お医者さんにかかるなどといふことも生じます。国保は、このようないために、日ごろから加入者が収入に応じてお金を出し、病気やケガをしたときの医療費にあて、助け合おうとする制度です。

現在、医療費は毎年増え続いているのは、みなさんの納めている国保税です。私たちが、ふだん国保でみてもらっている医療費に無駄

はないでしょうか。今一度、私たちの健康に大切な国保と医療費について、真剣に考えてみましょう。

献体について

秋田大学医学部からのおねがいです。

実習用解剖体が不足しています。医学教育発展のため、皆さんのご理解により、献体のご協力をお願いします。

① 献体後遺骨が返されるまでの期間は、最短で六ヶ月位普通は一年位かかります。その理由は、準備期間に三ヶ月以上（解剖を行う前に防腐処置等を施し解剖が可能になるまでの期間）

高コレステロール血症は、高血圧、心筋梗塞、狭心症など、心疾患の危険因子ですから十分な注意が必要です。

心筋梗塞による死亡者は、六年前より四十人前後で、推移し平成三年度は、三十七人となっています。

心筋梗塞による死因の中には、心臓病だけではなく、大腸がんの原因にもなるので、子ども時代から日本食を心がけたいのです。

また、脂肪の過剰摂取は、心臓病だけでなく、大腸がんの原因にもなるので、子ども時代から日本食を心がけたいのです。

保健課からのメッセージ

○ 実習期間に三ヶ月（解剖実習を行う期間、例年四月～六月までの三ヶ月を必要）
② 遺骨返還までに必要な期間
献体がその年の実習開始に間に合わないときは、翌年の実習開始まで保管される

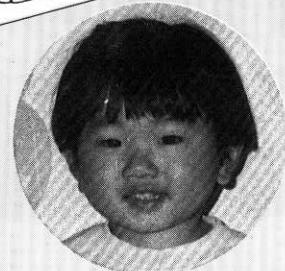
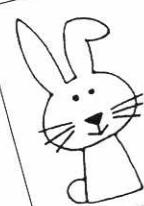
脂肪を減らし心臓病予防

八月十日は「ハートの日」

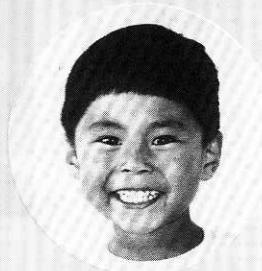
日本語でハートは心臓の意味です。心臓病が増加している現代は、洋風の食事がもたらされていますが、動物性脂肪は動脈硬化を早める作用があります。

過労死やストレス病と言われています。





舟見町
さくらば きょうへいちゃん



大堤
みさわ ゆうたちゃん



高野尻
きむら ゆたかちゃん



花園町
おおかわ ゆうへいちゃん

ことになり、その場合は献体後、一年七・八ヶ月位になります。 献体されたご遺体はその都度がすぐに解剖するのではないかことをご理解ください。

③費用、その他ご遺体を預りましてから、ご遺骨をお返しするまで、火葬料を含め一切を、大学側が負担いたします。

※連絡先
秋田大学医学部
□一八六一三三一
一一六六
・勤務時間外は、医学部宿直室直通となります。
△二二
・勤務時間内は教務係へ内線三一一〇

《粗大ゴミ収集日》

●8月24日(月)

栄地区、向黒沢、掛泥、高野尻

●8月25日(火)

沢口地区、南鷹巣、緑が丘、蟹沢

●8月26日(水)

七日市地区

●8月27日(木)

七座、坊沢地区(緑ヶ丘、蟹沢を除く)

●8月28日(金)

鷹巣地区(南鷹巣を除く)

●8月29日(土)

綴子地区(向黒沢、掛泥、高野尻を除く)

○収集場所 全町98ヶ所

※詳しくは毎戸配布のチラシに明示しております。(8月1日号広報で配布)

夜間当番医(夜間診療)日程表

8月曜日	医療機関名	電話番号
16日	戸嶋産婦人科医院	62-1123
17月	近藤 医院	62-1155
18火	奈良 医院	62-1146
19水	藤原 医院	62-2882
20木	盛岡 外科 医院	62-1101
21金	北秋中央病院	62-1455
22土	としま 医院	62-1267
23日	近藤 医院	62-1155
24月	戸嶋産婦人科医院	62-1123
25火	北秋中央病院	62-1455
26水	藤原 医院	62-2882
27木	奈良 医院	62-1146
28金	佐々木産婦人科医院	63-0105
29土	近藤 医院	62-1155
30日	北秋中央病院	62-1455
31月	としま 医院	62-1267

○応急の診療を要する患者。
○往診はしておりません。
○仕事や職場の都合で夜間診療を受けるケースは、

※年齢・病気の症状にかかわらず当番医に電話等でご相談を受けてください。

診療に応じかねます。

8月の健康ごよみ

■17日（月）

○母子健康手帳交付と

第1回妊婦教室

受付—午後1時～1時30分

(妊婦教室は3時終了)

場所—中央公民館健康相談室

持参—印かん

内容—母親の心がまえ、妊娠中期の生活指導、母乳栄養について

○役に立つ各制度について

○母子健康手帳の使い方

○歯科衛生士によるむし歯予防と指導

○映写「すばらしい母乳」

○第3回妊婦教室

時間—午前10時～正午

場所—中央公民館健康相談室

内容—育児の要点・沐浴実習

母乳、断乳、家族計画等

■19日（水）

○リハビリ学級

・視察研修

・秋田だるまの会との交流会

■25日（火）

○4カ月児健康診査

対象—平成4年4月生まれ

受付—午後1時～1時30分

○7カ月児健康相談

対象—平成4年1月生まれ

受付—午前9時30分～10時

持参—母子健康手帳、バスタオル

(いずれも中央公民館ホール)

あなたの善意をお待ちしています

～献血キャラバン隊が来町～



献血は、かけがえのない生命を救う愛の贈りものです。
特に若い人の献血を——
愛の血液助け合い運動——が八
月から始まるのを前に、県学生献血推進協議会委員による
キャラバン隊が、七月二十八
日役場を訪れ、献血を呼び掛け

命を救う愛の贈りものです。
特に若い人の献血を——
愛の血液助け合い運動——が八
月から始まるのを前に、県学生献血推進協議会委員による
キャラバン隊が、七月二十八
日役場を訪れ、献血を呼び掛け

上での血液の需要が増大している反面、重いけどや重度の感染症、血友病の治療などに使われる血漿分画製剤の約90パーセントを輸入に依存しています。また、夏季は特に血液が不足する時期もあります。

献血をすると、肝炎やエイズ感染がないか、またコレステロール値などで栄養や健康状態に問題がないかなどがわかり、自分の健康をチェックすることもできます。

多くの人たちの善意によつて支えられている献血。私たちが使うものだから、私たちの手で国内需要を貢献したいのです。

けました。

わが国では、医療技術の向上で血液の需要が増大している反面、重いけどや重度の感染症、血友病の治療などに使われる血漿分画製剤の約90パーセントを輸入に依存しています。

また、夏季は特に血液が不足する時期もあります。

献血をすると、肝炎やエイズ感染がないか、またコレステロール値などで栄養や健康状態に問題がないかなどがわ

かり、自分の健康をチェック

することもできます。

多くの人たちの善意によつて支えられている献血。私たちが使うものだから、私たちの手で国内需要を貢献したいのです。

そのため、近年赤ちゃんをとりまく環境は大きく変化していま

す。子どもの頃から赤ちゃん

と接する機会が少なくなった

ため、親になつてから、育児

不安など子育てに様々な影響

を与えています。

このようなことから鷹巣保

健所では、七月二十八日、高

校生を対象として“赤ちゃん

ふれあい体験学習”を開催し

ました。

この日は、地元女子高校生

十人が参加。午前中乳児健診

の説明や、「ミラクルオブライ

イフ」のビデオで予習し、午

後からは、人形を使って赤

ちゃんの抱き方やオムツの取り

替えの練習をしました。

このあと、町の四ヵ月児健

診の場で本物の赤ちゃんと対

面。おそるおそる抱っこしな

がらも、「かわいい」とニッ

コリ。命の尊さを学びました。

これからもどんどん赤ちゃん

に接し、いいお母さんにな

つて下さいね。

こんにちは赤ちゃん

～赤ちゃんふれあい体験学習～

この日は、地元女子高校生十人が参加。午前中乳児健診の説明や、「ミラクルオブライフ」のビデオで予習し、午後からは、人形を使って赤ちゃんの抱き方やオムツの取り替えの練習をしました。



このあと、町の四ヵ月児健診の場で本物の赤ちゃんと対面。おそるおそる抱っこしながら、「かわいい」とニッコリ。命の尊さを学びました。これからもどんどん赤ちゃんに接し、いいお母さんになつて下さいね。

暮うしの情報

INFORMATION

大館調停協会では、今年も
無料調停相談会を開きます。

相談内容は、金銭・土地・建物・交通事故・夫婦および男女関係・親子・相続等その他の諸問題をお受けします。

相談内容等の秘密は固く守られますので、気軽に利用してください。

皆様から納めていただく税金は町の貴重な財源になります。さまざまな事業を円滑に推進するためにも税金の納期内納付をお願いいたします。

なお、町税を一括して納期前に納付された方などには前納報奨金の制度が適用されます。反面、納期後に納付された場合には、遅延利息に相当する延滞金が加算されます。

利率は各納期限後一ヶ月は年七・三%、さらにそれ以上遅れた期間は十四・六%と一般の金利水準より高くなっています。

詳しくは、役場税務課徵収
係へ（六二一一一内線）

登記無料相談

日時：8月21日(金)
午前10時～午後3時
場所：中央公民館
担当者：民事・家事調停委員

登記無料相談

期間は今月末日までです。
相談内容は次のとおりです。

① 土地・建物の保存・相続、
交換、代物弁済、売買、贈
与等に関する登記

② 根抵当権(担保)の設

定、変更、抹消等に関する登記、仮登記に関するもの

無料調停相談会

歲時記

蔵野の逃げ水は古歌にも詠まれ、「東路にありといふなる逃げ水の逃げ隠れても世を過すかな」(末木和歌抄)という歌も残っています。

ところで、どんな道路に逃げ水が現れやすいのでしょうか。日本道路公団広報室の話によると、「白舗装（コンクリート）により、黒舗装（アス

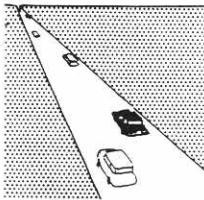
ことが多いのでは」とのことです。

地域づくりのための道の役割などについて、みんなで考えてみましょう。

空気に密度の差ができ、光の屈折なども加わって起きる現象です。道路に水たまりがある

めです。これはしんきろうのためで、舗装道路だけではなく砂漠や草原でも起きます。ナトリウムイオンが砂漠でこれを見て、オアシスと間違えた話は有名です。

逃げ水は、俳句の夏の季語にもなっています。また、武



道路をまもる月間



午後7時～10時

* 場所は銀座通り

(秋田銀行前～衛生堂前まで)

* 受付－鷹巣町観光協会

(☎62-1850へ)

当日は、6時30分～7時20分

まで会場で受付けます。

●日程

午後6:30～	のろし打ち上げ
7:00～8:00	子どもの部
7:30～9:10	大人の部
8:00～8:10	開会式（14日）
9:10～	表彰式（15日）

※団体賞・個人賞・仮装賞・特別

賞・参加賞を準備しております。

(対象は、主に2日連続出場の

団体、個人)

着替えの場所として神成牛乳屋さんの2階をお借りしています。



警察官及び婦人警官採用試験について

入選者には賞状を、
ほか全員に参加賞

○発表表＝10月6日(火)
(他都県は10月下旬)

○2次試験＝10月下旬
(他都県は11月中旬)

○申込書交付＝7月27日～9月4日まで、県人事委員会

○受付期間＝県警察本部又は各警察署へ、9月4日まで

秋田県人事委員会では、警察官及び婦人警官を募集しております。

試験区分・予定人員

○警察官B(高校卒業程度)

○秋田県6名、埼玉県3名、千葉県3名、神奈川県8名

○警察官A(高校卒業程度)

○秋田県6名、埼玉県3名、千葉県3名、神奈川県8名

○婦人警察官(高校卒業程度)

○秋田県4名

○第一次試験＝9月20日(日)

○場所＝大館市・能代市・秋田市・本荘市・大曲市・横手市

▼どんぐりスポーツカーブラブ秋田(代表 山本朗)からサマーナイトチャリティーラリー事業寄付金として五万円

▼(有)タザキプリント(代表取

善意香典返し

このほど次のかたから、香典返しにと町社会福祉協議会へ寄付金がありました。
△鷹巣保育園から祭典みこしの祝儀の一部として五千円
△鷹巣保育園から祭典みこしの祝儀の一部として五千円
△福島県喜久造さんから亡父三左衛門さんの香典返し
△佐藤重治郎(70歳)葛黒(83歳)住吉町
△河田昭治(73歳)南鷹巣
△畠山しま(83歳)本郷
△松本次郎(81歳)サダ

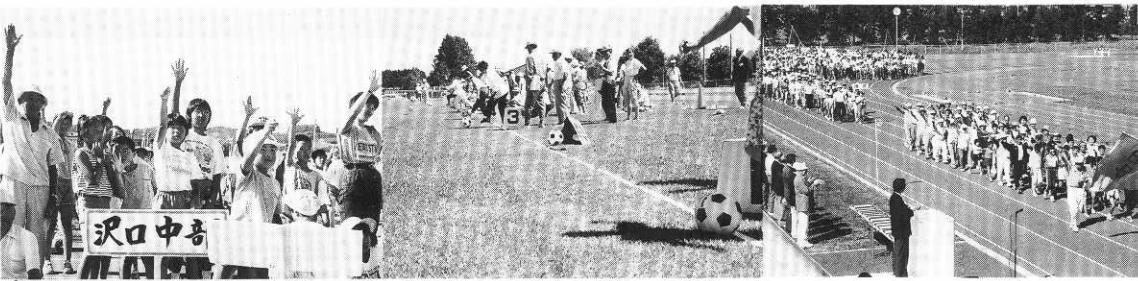
香典返し

※訂正 8月1日号で、畠内ナカさんは、山内ナカさんの間違います。訂正してお詫びします。

△花園町(河田嘉七さんから亡三女登代さんの香典返し
△田沢(亀山光雄さんから亡母チヨさんの香典返し
△摩当(岩谷賢蔵さんから亡祖母サンさんの香典返し
△相善(永井春美さんから亡父與市さんの香典返し
△南鷹巣(松本清さんから亡

△小森(神成久美雄さんから亡父三左衛門さんの香典返し
△二本杉(畠山喜久造さんから亡父吉治さんの香典返し
△新舟見町(長岐茂さんから亡母サダさんの香典返し
△葛黒(佐藤一博さんから亡祖母タカさんの香典返し

長岐	河田	畠山
佐藤重治郎	昭治	しま
(70歳)	(73歳)	(83歳)
葛黒	材木町	本郷



第30回
8月30日(日)

きじつ 集合8:30 開会式 9:00
 競技開始9:30 閉会式15:00

ばしょ
鷹巣陸上競技場

(雨天の場合は鷹巣体育館)

しゆもく

- サバイバルゲーム
- 上手におそうじできるかな
- 棒ゲーム
- 聖火リレー
- スリッパサッカー
- 宝さがし（幼児・ご老人）
- リレー（小・中・高・40歳以上）
- 綱引き
- ビンゴゲーム



など楽しい種目がいっぱい!!

**町民体育祭に
参加しよう**